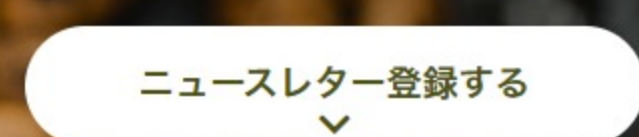


いつでも産地直送！ベランダ産じゃがいもを食卓へ。  
オーストリア発・省スペースでじゃがいもが育つタワー型プランター

# PAUL POTATO

ポールポテト

ニュースレター登録する



## JAPAN LAUNCH

最大25%OFFで先行予約！  
ニュースレターを購読すると、最もおトクに購入できます。

＼メールアドレスを登録／

ニュースレターを購読する

メールアドレスを入力してください\*

限定特典情報入手！

もしくは

＼LINE公式アカウントに登録／

友だち追加

## 「PAUL POTATO」とは？



健康意識の高まりもあり、自分の家で無農薬の有機野菜を作る方も増えてきました。そのなかでも多くなってきたのが、ベランダなどを活用する「プランター農園」です。

しかし限られたスペースのベランダで「食卓に並ぶ量の野菜を育てる」というのはなかなか難しいもの。さらには育成管理や害虫対策も大変で、その大変さから諦めてしまう方も多いのではないのでしょうか。

今回クラウドファンディングで募集する「PAUL POTATO」はそのような悩みを解決し、簡単にじゃがいもが育てられるオーストリア発のプランターです。

プランター本体は正三角形の角を落とした独自の六角形の形状をしており、じゃがいもの種いもを埋めた「PAUL POTATO」を互い違いに重ねていくことができます。このような形にすることで日当たりを確保しつつ、多くの量を狭いスペースで効率よく栽培することが可能。同じスペースであれば最大10倍の収穫量を見込むことができるのです。一方取納時はコンパクトに収まり、邪魔になりません。

開発はオーストリア・ウィーン天然資源大学や一流のガーデニング愛好家たちと共同で進められました。手軽・省スペースに始められるプラスチック製（小）、耐久性や収穫量に優れたスチール製（大）と、好みやスペースに合わせて使い分けが可能。さまざまな野菜を組み合わせた「家庭菜園タワー」を作ること難しくありません。

我が家のベランダで育った採れたてのじゃがいもで、ポテトチップスやスイートポテトといったおやつ作り。お客さんを自家製の野菜でおもてなし。なかなかスーパーでは見かけない品種を楽しむ。大切なお子様やご家族などと一緒に、じゃがいもを一度育ててみませんか？



## ポールポテトの特長

PAUL POTATOは六角形の形状をしたプランターを積み重ねる形にすることで、最大10倍の収穫量・害虫駆除などの手間削減を実現。限られたスペースのベランダで、家族が楽しむのに十分な量を栽培することが可能となっています。

### 1. 底部分を持ち上げることで害虫駆除の手間を削減



プランター型の家庭菜園で気になるのが、底に害虫が発生すること。PAUL POTATOは底を持ち上げてプランターの形状を工夫しています。また、省スペースなので、虫よけカバーも簡単に取り付けられます。害虫発生を抑え、管理の手間を軽減しました。

### 2. タワー型プランターで最大10倍の収穫量を実現



六角形の独自形状のプランターは安定して交互に積み重ねることが可能。地面で栽培するのになら、最大10倍の収穫量を実現しています。

### 3. 省スペース・軽量なプラスチック（小）



プラスチック製のPAUL POTATOは軽量かつ省スペース。マンションのベランダなどでも手軽に育てることが可能です。

### 4. 大容量・耐久性に優れたスチール（大）



より多くのじゃがいもを育てたいという方向けにはスチールタイプのPAUL POTATOもご用意しています。

## Makuake（マクアケ）への掲載について

世界中から魅力的な製品が集まる、日本最大級のクラウドファンディングプラットフォーム「Makuake」。「PAUL POTATO」は、海外のクラウドファンディングで目標金額の1300%を達成し、一気にその名が知れ渡りました。その後、全世界で50,000個以上の販売実績を誇っています。この度遂に日本でもキャンペーンをローンチすることになりました。

## ついに、日本上陸！

### JAPAN LAUNCH

最大25%OFFで先行予約！  
ニュースレターを購読すると、最もおトクに購入できます。

＼メールアドレスを登録／

ニュースレターを購読する

メールアドレスを入力してください\*

限定特典情報入手！

もしくは

＼LINE公式アカウントに登録／

友だち追加

